

【部会・分科会活動報告】 2006年11,12月度

食 品 安 全 研 究 会	食品安全調査研究部会	1) e-mail 情報の発信： 2006-6 「“農林水産省が優先的にリスク管理を行うべき有害化学物質のリスト”について」11/10、2006-7 「中国（北京）スーダンレッドで着色されたアヒルの卵黄の問題について」11/17、 2006-8 「WEB 記事 “ Food Safety Improvements Underway in China ” について」11/17 2) 第1回部会会議開催11/2： e-mail 情報の発信状況、 Codex 汚染物質データベース、 部会リンク集、 EPIC 食品中の発ガン物質データベース、 アクリルアミド、 国衛研食品案全部との交流、 食品への放射線照射について、 カビ毒、 他 3) 第2回部会会議開催12/8： e-mail 情報の発信状況、 Codex 汚染物質データベース、 部会リンク集、 EPIC 食品中の発ガン物質データベース、 アクリルアミド、 国衛研食品案全部との交流、 他
	食品アレルギー研究部会	12/19, 25 翻訳中の FSA ガイドライン・3章（アレルゲンリスクアセスメント、管理、およびコミュニケーション）の2.2（製造）を品質保証関係者で味の素（新橋）にて討議。
	食品微生物研究部会	1) 11/16 全体集会（12/7 シンポジウム向け） 2) 12/7 「食品汚染微生物シンポジウム（3テーマ）」開催、約350名の参加者で大盛況となった。
	食品リスク研究部会	1) 11/30：「食品の安全性評価フロー」作成に関し、林裕造先生のご意見を伺うため日本健康・栄養食品協会を訪問。 2) 12/8：第7回部会会合開催 / サテライトシンポジウム企画の進捗報告、来年度活動計画、林先生のご意見を踏まえて修正した「食品の安全性評価フロー（案）」の検討。 3) 12/14：サテライト・シンポジウム企画会議
	オフフレーバー分科会	分科会としての今期の活動は無かった。会員からの「技術解説書」注文が50冊程度あり、残り20冊程度となった。
	バイオテクノロジー研究部会	1) 11/24 環境安全性に関するワークショップのアドバイザー委員会キックオフ（林 OECD 部会副議長を中心とする国内有識者による勉強会） 2) 11/27-12/1 コーデックス食品バイオ特別部会出席 3) ILSI Japan 25周年「イルシー」誌、執筆原稿2報提出（バイオ部会18年、国際ワークショップ）
	香料研究部会	1) 部会会合開催は無し。 2) 12/20 TTC 冊子翻訳の監修依頼等打合せで、国衛研広瀬明彦先生を訪問（食品安全研究会：峯担当次長と）。2007年の早期に刊行を目指す。
	食品安全研究会全体	1) サテライト・シンポジウム計画：西島先生訪問11/1（味の素：木村部長、増澤様、明治乳業：遠藤部会長と）、プログラム打合せ12/14 2) 食品安全研究会部会長会議12/13 3) 香料部会“TTC”翻訳で監修者依頼に国立衛研訪問12/20（長川香料：岡村部会長と） 4) ILSI Japan 25周年「イルシー」誌、執筆原稿提出

栄養健康研究会	栄養研究部会	2007年10月31日、11月1日に国際連合大学にて開催される、第5回「栄養とエイジング」国際会議に向けて準備進行中である。副題を「ライフステージ別の栄養の諸問題」として、国内外の著名研究者16名に講演を依頼。本会議に併設して、栄養素や機能性素材の摂取上限値に関するサテライトシンポジウムも実施予定。
	肥満タスクフォース	日本人の肥満の現状について、これまでに報告された論文をReviewし、1. 肥満の現状、2. 肥満と栄養、3. 肥満とメタボリックシンドローム、4. 肥満と食行動、5. 肥満と運動、6. 肥満の最新研究の6項目にとりまとめた。現在、発刊に向けて最終の校正を行っており、本年度の出版を予定している。
	炭水化物研究部会	GRプロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japanとして明確にすることを目標としている。
	GRプロジェクト	12月8日に食品総合研究所において、研究進捗の中間報告会を開いた。これまでの研究活動でまとめたGR測定システムの各段階の具体的な検討結果を組み合わせ、プロトタイプとして提示した。報告後の討論でプロトタイプができたとの意見の一致を見た。
	果糖分科会	GRプロジェクトを進めてゆく上で、血糖になりにくい果糖の評価をしておく必要があり、異性化糖を含めた果糖の摂取と健康との関連性について、ヒト介入試験の論文を中心に検索し、評価を行っている。
	ダイエット分科会	11および12月は分科会開催せず。10月分科会の宿題事項であるGIと満腹感に関する文献調査を担当者が実施中。
	茶類研究部会	茶葉約80点の分析完了。データまとめ中。 2007年1月末に茶部会開催して報告予定。合わせて2007年度の活動方針を確認する。
	日本の食生活と肥満研究部会	分科会ごとに専門家へヒアリングを実施した。 発酵製品の多様性分科会 東京農大・小泉先生訪問（12/4） 脂質の種類分科会 女子栄養大・川端先生訪問（11/16）、お茶の水女子大・近藤先生（11/22）、国立栄研・江崎先生（11/27） 食事の量分科会 国立健康・栄養研究所吉池先生訪問（9/25）、国立循環器病センター・岡山先生、上田先生、国立栄研・由田先生（11/24）
食品機能性研究会	世話人会が江崎先生（国立健康栄養研）、合田先生（静岡大）、加藤先生（東大）、佐藤先生（東大）、松本先生（東大）をお招きし、今後、食品/栄養分野の研究にどのように関わってゆくべきかご意見を伺った（12/5）。	
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	テイクテン (TAKE10!) 11/1 企業説明会 11/2, 11/9, 11/14, 11/22 すみだテイクテン講習会(前期3会場) 11/30 すみだテイクテン全体講演会(後期) 12/5, 12/6, 12/14, 12/21, 12/26 すみだテイクテン講習会(後期3会場) 11/21 すみだテイクテンスタッフ研修会 リズムテン (LiSM10!) 11/8 カウンセラー研修会

Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	11 月 ベトナム新地区での活動を開始
Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	Vietnam Fish sauce 12 月 鉄強化魚醤の製造を開始
国際協力委員会	12/8 会議。 本部総会報告会を 2 月 28 日午後開催することを決定。 他支部からの支援依頼への対応基準案を作成。 本委員会の企画により、今後、他支部の紹介記事をイルシー誌に連載することを決定。
情報委員会	情報委員会開催 2 回 (11 月および 12 月に各 1 回ずつ) ILSI Japan パンフレット「What's ILSI」改訂作業 (名称・組織変更による) ほぼ終了 ホームページ編集
編集部会	「イルシー」誌 88 号編集作業、ほぼ終了

【事務局からのお知らせ】

運営委員会	特になし
執行委員会	第 8 回、第 9 回の執行委員会が 11 月 15 日と 12 月 7 日にそれぞれ開催され、下記の事項が審議された。 1. 2007 年 Annual Meeting in Cancun Japan Session のテーマを肥満 Task Force の成果、GR Project, CHP の活動とする事にした。 2. お茶の水女子大学公開講座 2007 年度から同講座に ILSI Japan がどのような観点で臨むか、ILSI の役割について討議されたが、結論には至らず継続審議となった。
理事会	第 5 回理事会が 12 月 7 日に開催され、下記の事項が審議された。 1. 「平成 18 年度事業報告案」 各部会の事業報告がされ承認された。 2. 「平成 19 年度事業計画書案」 組織運営と平成 19 年度開催の第 5 回「栄養とエイジング」国際会議を含む活動計画案が報告され承認された。 3. 「平成 19 年度事業会計暫定予算案」 平成 19 年 1 月、2 月の事業支出の為の暫定予算が承認された。 4. ILSI Japan CHP 代表の戸上理事の執行委員への就任が承認された。
事務局	当法人の名称を「特定非営利活動法人 日本国際生命科学協会」から「特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構」に変更する事については、11 月 17 日に都庁の認証があり、11 月 22 日付で法務局の登記が完了したので、平成 19 年 1 月 1 日より新名称で事業をスタートする事になった。